

村岡新駅周辺地区まちづくりニュース

平成30年度に締結した「藤沢市村岡地区・鎌倉市深沢地区のまちづくりと村岡新駅（仮称）設置に関する合意書」を受け、藤沢市では令和2年度末に村岡新駅設置も含め村岡地区都市拠点総合整備事業の実施判断を行う予定です。

現在、この事業判断に必要となる材料として、事業に関する検討・調整等の取組状況をご報告します。



村岡新駅周辺地区

令和元年度の取組

神奈川県や鎌倉市と連携した取組

■村岡新駅の概略設計

神奈川県、鎌倉市と藤沢市で設立した「村岡新駅（仮称）設置協議会」からJR東日本に依頼して、令和元年度から2年度の二箇年で村岡新駅の概略設計を実施しています。概略設計では、駅や自由通路の構造や施工計画等を検討し、事業期間や概略事業費等が算出されます。

■一体施行による土地区画整理事業に対する調整

土地区画整理事業やシンボル道路整備の検討を深度化しながら、村岡地区と深沢地区のまちづくりを一体施行することで生じる課題を調整し、実現可能性を整理しています。

■リーフレット作成による情報発信

神奈川県、鎌倉市と藤沢市で構成する「湘南地区整備連絡協議会」において、村岡・深沢地区のまちづくりに関するリーフレットの作成等により、情報発信を行う予定です。

藤沢市による取組

■まちづくりの方向性の検討

地元や学識経験者、経済団体、関係事業者等をメンバーとした「村岡新駅周辺地区まちづくり検討会議」を設置しご意見をいただきながら、まちづくりのコンセプトや方向性、事業手法等について検討しています。

■土地区画整理事業やシンボル道路整備等の事業可能性の検討

土地区画整理事業やシンボル道路整備の事業実現性を見据えて、地権者へのヒアリングや交通管理者等との協議を実施しながら、検討の深度化を進めています。

■地元住民や市民のみなさま等への情報の共有化

現在の取組状況等について、まちづくりニュースや地元への説明、市ホームページ等を通じて、地元や市民のみなさまへ情報発信を行っています。

「村岡新駅周辺地区まちづくり検討会議」について

まちづくりコンセプトの深度化や、その実現化に向けた誘導機能や官民連携による取組、また村岡新駅周辺地区の市全体における役割・効果等についての検討を目的に、学識経験者、地域住民、権利者、関係事業者、商工会議所、行政を委員とした検討会議を、令和元年（2019年）10月に設置しました。令和元年度、2年度での開催を予定しています。

開催日	概要
第1回 令和元年(2019年) 10月16日(水)	<まちづくりの方向性について> 本地区に対する思い等を各委員から発言いただいた上で、今後検討を進める際のポイントや課題、手ごかり等について、意見交換を行いました。
第2回 令和元年(2019年) 12月17日(火)	<空間のあり方について> 「研究開発拠点」と位置付けられている本地区が目指すべき都市像や空間像について、検討を行いました。先端的な研究開発機能だけではなく、住民・市民に向けた創造性・利便性を考慮すべき等、様々な意見が出されました。
第3回 令和2年(2020年) 2月21日(金)	<都市像・空間像、実現化方策等について> 地区のコンセプトとなる都市像・空間像や、これらを実現するための手法等について検討を行いました。中間とりまとめに向けたご意見が出されました。

※ 会議の資料及び議事概要については、市ホームページでご覧いただけます。

今後のスケジュール（予定）

平成30年12月27日に神奈川県、鎌倉市及び本市で締結した「藤沢市村岡地区・鎌倉市深沢地区のまちづくりと村岡新駅（仮称）設置に関する合意書」を受け、藤沢市では令和2年度末に村岡新駅設置も含め村岡地区都市拠点総合整備事業の実施判断を行う予定です。

	2018(H30)年度	2019(R元)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度～
新駅整備	12/27 神奈川県・藤沢市・鎌倉市の合意 組織の立上げ 1/18 新駅設置要望	概略設計	新駅設置の 最終判断	基本協定
まちづくり		コスト削減策 の検討等 及び 事業費の精査	事業の具体化 や効果の検討	土地区画整理 事業の 手続き
				都市計画決定

※ [] は、新駅設置の最終判断で、事業実施となった場合のスケジュールを示しています。

* 「まちづくりニュース」に関するお問い合わせはこちらまで

藤沢市 都市整備部 都市整備課 村岡地区整備担当：鈴木、小林
 電話：0466-25-1111(代表) 4321(内線)

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosei/index.html>

